

は
ち
み

<http://hacchi.jp>

2011.2.11.Fri hacchi open!



vol.4

ソウゾウ開化へ向けて、八戸ポータルミュージアム「はっち」2011年2月11日オープン。

ひと足お先に、はっちの中を公開

【こどもはっち】、【観光展示】、【シアター】などなど、自由なソウゾウ活動に自在に使える施設をご紹介します。

クラフト&食のものづくりスタジオを紹介

はっち2～4階で展開される「メイドイン八戸のフォーククラフト&ソウルフード」に出会う。

「八戸レビュー」が描き出す八戸の“今”、“未来”

はっちのアートプロジェクトがまちのコミュニケーションを紡ぎ出す！

hacchi Artist Clips—誇りたい、八戸の手仕事

八戸の風土に根ざした業やかたちや新進気鋭のものづくりを紹介。

中心街×はっちコラボプロジェクト

八戸中心商店街とはっちが一緒に取り組む、オープニング企画とは。

ひと足お先に、はっちの中を公開

八戸ポータルミュージアム「はっち」は地域の資源を大事に想いながら新しい魅力を創り出すところ。まちづくり、文化芸術、観光、ものづくり、子育てを軸とした活動をサポートする多様な設備を備えています。

こどもはっち

木のぬくもりと良いおもちゃ、楽しい出会いの場

たくさんの木のおもちゃ、子どもサイズの「はっちのいえ」や「木のプール」、「かみしばいおちゃしつ」など、楽しい“しかけ”がいっぱい。県産材をふんだんに使い、職人さんが心を込めたスペースは、子どもと大人が一緒に遊ぶ交流の広場です。新しい子育て支援の場としてさまざまなプログラムも開催されます。



※写真はイメージです。
(又はパノシ島南本市)



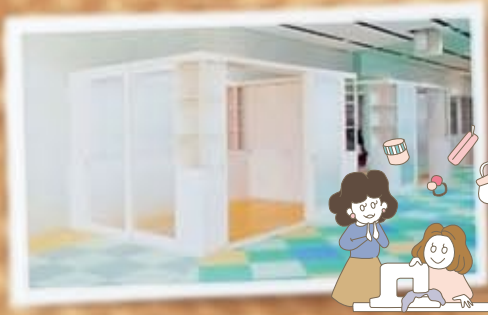
おもちゃ遊びや工作など、親子と一緒に楽しめる体験講座を開催します。

- 親子おもちゃ工作教室
- 子どものための文化鑑賞会（ミニコンサート、人形劇）
- カブラ積木体験講座

〈利用時間〉9:30～16:30
(2月はオープニング特別事業により、変更となる場合があります。)
〈入場料金〉1人100円(未就学児は無料)
※行事や講座等については必要に応じて別途参加費が必要です。
〈休館日〉毎週火曜日(祝日に当たる場合はその翌日)
および年末年始(12/29-1/3)
【オープンまでの問合せ】子ども家庭課 TEL:0178-43-9094

ものづくりスタジオ

「八戸のものづくり」を新しいスタイルで演出するスタジオショップ。長い伝統に培われてきた工芸から、新進気鋭のアートまで、食やクラフトの作家の仕事を実際に見ながらお買い物を楽しめます。



観光展示

はっちからフィールドへ、人びとをいざなうガイダンス

種差海岸や無島のウミネコなど、豊かな自然環境と人びとのいとなみ、朝市や横丁、せんべい汁など八戸特有の文化、迫力ある産業のシーンなど、八戸の魅力を「観光」の視点でガイドする多彩な展示。皆様を各フィールド(現地)に誘います。



●1階、テーマ屋台3号「ウミネコのすべて」

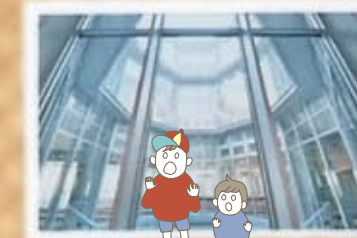
八戸の魅力を簡単に紹介するテーマ屋台型の観光展示ブース。例えば3号屋台では資料や映像でウミネコを紹介。ほかにも「種差海岸と吉田初三郎」など、さまざまな切り口で八戸の魅力や面白さを紹介します。

●3階、産業の八戸より「水晶の八戸」光のオブジェ

八戸に発達した産業を分野ごとにダイナミックに紹介するゾーン。導入部にはエプソンプラットミックス(株)で生産されている世界的シェアの人工水晶クラスターでオブジェが築かれ、気に満ちた輝きを放っています。

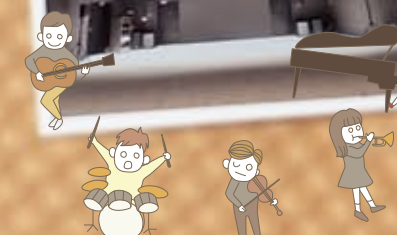
はっちコート

はっち中央には八角形の中庭があります。光も風も雨も雪も、屋内に居ながら季節や時間のうつろいを感じさせてくれる5階吹き抜け空間。



シアター

1Fのシアター1は各種展示会や講演会などに対応可能な120席程度収容できる多目的空間。2Fのシアター2は天井高6.5mで防音機能を持つ、120席程度収容可能なホール。音楽イベントや演劇にも最適な音響や照明設備を備え、映画上映もできます。



和のスタジオ

床の間や炉を備えた32畳の和室。フロアを客席として、スタジオ全体を畳の舞台にするといった使用も可能。お茶会、舞踊発表、展示会等、和室としての使い方を越えた新しい空間です。8畳×4室に分割も可能です。



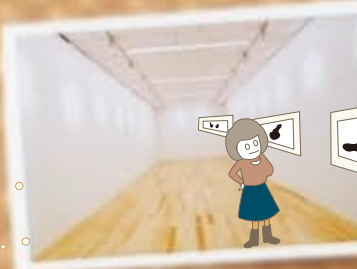
食のスタジオ

キッチン、調理器具などを備え、料理教室や食育講座などの会場に適した調理室。天井から大型モニター2基を吊下げ、調理の様子をライブ中継できる設備もあります。スタジオ前には飲食スペースとしてのラウンジもあり、多彩な企画に対応可能です。



ギャラリー

はっち館内には1F、2F、3Fにそれぞれ1つずつのギャラリーがあります。ピクチャーレールやスポットライトなど各種展示に対応できる機器を備え、各ギャラリーごとに広さが異なるため、用途に応じたセレクトができます。



レジデンス

はっち最上階にあり、24時間使用可能な5つの創作スペース。同フロアの共同スタジオや共同キッチン、工作スタジオ等との組み合わせで、多様な創作を長期的に展開することも可能です。



カフェ・ショップ

三日目の目抜き通りに面した1Fには八戸の地域資源を生かしたドリンクやスイーツ、フードをゆったりと楽しめる「cafe 373」が誕生。またショップとして、地元資源をデザインやアートの力でブラッシュアップしたオリジナルグッズの開発や販売を展開する「KANEIRI museum shop」もオープンします。



ものづくりスタジオで「メイドイン八戸のフォーククラフト&ソウルフード」に出会う。

地域の良品、味覚をはっちから発信します。



秋田の詩人小坂太郎さんの「ふるさとを創る」という言葉を大事に日々ものづくりに励む山田さん。ご主人はレザークラフト担当として共同の作品作りをしている。

『つづれ屋』 山田友子さん 4F ものづくりスタジオ

結婚を機に始めたという南部蓑刺し。それまで海外の手工芸品や民族衣装を好んで買っていた山田さんのものづくりは、「自分のふるさとにも海外に自慢できる伝統工芸があった自分でも創ってみよう」から始まりました。師である天羽やよいさんの梅の花工房に通って5年、技法はもろろんのこと、食生活や暮らし方なども自然からの恵みを大事にものづくりをする生き方を学んだとのこと。「南部蓑刺しのひとつひとつの 패턴の名前がかわいらしいです。すきたばね、ねこのまなく、べこのくら・・・」有機的なものがかりに囲まれた暮らしの中から生まれた模様たち。自然と共存する田舎青森。青森イコール田舎でいい。食糧自給率120%って今どきカッコイイ!もっとノスタルジックな青森を復活させたいという山田さんのスタジオは、はっち4階です。



左「南部蓑刺しすきたばね×皮革ミニトートバック」イタリア産ブルガノ皮革を使用し、ほぼ手縫いによる薄身の作品。価格2万円前後になる予定。
中央「南部蓑刺しをアレンジしたくすみボタン」ドイン麻使用。髪留めにしたリ、コートやカーディガン等のアクセントボタンにしたり、¥850～
右「皮革筒型ジュエリーボックス」今や数少ないレザークラフト手縫いの技法のなかでも高度な技が必要な一品。¥4,800～

『LAND PROTECT.』 島守宏和さん 4F ものづくりスタジオ



津軽塗 シルバーリング ¥25,000
漆塗 ピンバッグ ¥1,800



大学で習得した造形力と弘前津軽塗研究所で鍛練した技術力により数々の受賞歴を持つ漆塗クリエイター。“デザインから加工までの一貫した職人ものづくり工房”を構える。

『code cake.』 松橋良子さん 4F ものづくりスタジオ



めがねケース ¥2,500
さきおりミニプレート ¥1,800
さきおり手提げ ¥4,800



風土から体得した熟練の技術と繊細なデザインセンスが相まって生まれるオリジナル雑貨たち。ライフスタイルの提案も施されたスタジオ内は“良品”だけが放つオーラでいっぱい。

『Art Market*』 鈴木 恵さんと仲間たち 4F ものづくりスタジオ



Wポケットポーチ ¥800
ベビー用スタイ ¥700



鈴木さんが主宰する若手作家グループ「ArtMarket*」によるハンドメイド服飾雑貨の製作販売、ワークショップ等のイベントもあり、ファッションブルなもののづくりが展開される。

工房『澄 ちゃん』 井上澄子さん 4F ものづくりスタジオ



地機織りならではの優しい手触りのグッズ。

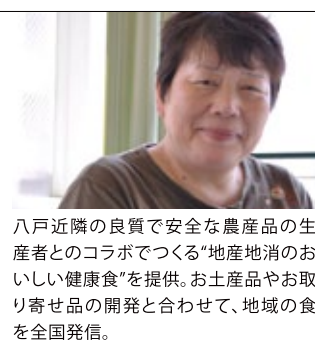


県認定伝統工芸士の南部製織作家、井上澄子さん。柔らかな「地機織り」にこだわった伝統の技術を後継者に伝えながら、彩り豊かな南部製織グッズを製作販売していく。

『里山夢食堂』 赤坂美千子さん 2F 食のものづくりスタジオ



にんにくみそ ¥500
契約農家の100%ジュースやガーリックオイルが大人気。



八戸近隣の良質で安全な農産品の生産者とのコラボでつくる“地産地消のいい健康食”を提供。お土産品やお取り寄せ品の開発と合わせて、地域の食を全国発信。

『揚げたて うみねこキッチン』 NPO法人 ACTY 2F 食のものづくりスタジオ



ヒット商品 八戸うみねこバクダン ¥1,050
これが噂の八戸うみねこの卵揚げ。



「八戸うみねこバクダン」をヒットさせたACTYが、うみねこシリーズ第2弾「八戸うみねこの卵揚げ」を開発。見てビックリ、食べてナットクの“うまさ”を提供してくれます。

『maison de fanfare』 中村佳代子さん・奈栄さん姉妹 4F ものづくりスタジオ



お姉さんはプロのカメラマンです。



スチールフォトグラファターの姉と服飾雑貨製作の妹によるコラボユニット。二つの異なる表現が、若き姉妹のフィルターを通して独自の世界観を持った作品が生み出されていきます。

『りんごの木』 中村雅子さん 3F 食のものづくりスタジオ



ふるさと味倶楽部の方々と天然酵母のパンづくりや親子フコイナクッキングスクールを展開する中村さん。毎日変化する日替りプログラムが楽しい参加型の食育イベント等があります。

『very berry juice.』 照井美由樹さん 3F 食のものづくりスタジオ



ベリベリージュース、おいしい果汁などの健康と美容のためのフレッシュジュースのほか野菜スイーツも。



野菜ソムリエ、ベジフルビューティーアドバイザー・照井さんによる地元野菜&フルーツを使ったフレッシュジュースやスイーツの販売。健康と美容を考えたスタイリッシュなスイーツも。

hacchi 1F Cafe&Shop



『KANEIRI museum shop』 株式会社 金入 hacchi1F shop

「KANEIRI museum shop」のテーマは“アオモリは、おもしろくて、かっこいい”。日本を代表するデザイナー北川一成氏、新幹線ビクトグラムデザインで知られる田名部敏文氏をはじめ、地元では八戸焼の渡辺真樹氏など、県内外の作家、写真家、工芸家、アーティストと共に、郷土が持つ本来の魅力をデザインの力によってさらに引き出すオリジナル製品の企画開発、販売を展開。「はっち」ショップではその発信拠点としてオリジナルグッズのほかに、焼き物や津軽塗等の物産品、デザイン・アート関係の書籍、デザイン雑貨等が網羅される予定です。はっちに登場する「アオモリ」ってこんなにおもしろくて、かっこいいんだ”と再認識できるアイテムたちに会いにきてください。



渡辺真樹氏による「八戸焼」、石橋忠三氏によるガラス製品、「わにもっこ」の木製品、津軽塗製品など、同店オリジナルの「アオモリアイテム」が揃う。「寄りバーバー」は、八戸出身デザイナー田名部敏文氏によるグラフィックデザインが施されさらにブラッシュアップ。ほかにも「アオモリ再発見」につながるオリジナルステーションナールやTシャツなど新商品が続々リリースされる。



『cafe 373』 みな実 hacchi1F cafe

はっち1Fの「cafe 373」では、こだわりのコーヒーはもちろん、「はっち」にちなんだ「はちみつを使った」紅茶やワッフル、「はっちマークのワッフル」、地元のお米や五戸の「なんばんそ」を使ったオリジナルピザ、南部の野菜を主役にしたカレーなど、徹底した地元資源から生み出すメニュー構成となっています。マスターが掲げるテーマは「市民参加でできるカフェ」。オープン後は、メニューレシビを公募して実際に商品化へ販売したり、店内の一角をギャラリーに見立て、地元の子どもや学生、社会人の絵画や写真を展示スペースとして提供する企画も準備中。全国どこにもない、八戸だけの、そして、はっちならではのカフェが誕生します。



オリジナルブレンドコーヒー ¥350。はっちマークのワッフルや、八戸を象徴するえんぶり、八幡馬等の人形焼きのほか、米米ピザ、南郷農園のカレーなど、地域資源を生かしたメニューがいっぱい。

Arts&Crafts&Foods STUDIO SHOP

2011年2月11日から約1ヶ月間、はっちのオープニングでは、まちや人を主役にした感動のアートプロジェクトが展開されます。

八戸レビュー 進行中。

「八戸レビュー」は、新進気鋭の3人の写真家が、88組の市民を撮影した作品を一堂に展示する写真展です。

このプロジェクトは、8月から始まりました。88人の市民がこの街に生きる人々たち取材し、その人生のひとこまを「物語」として記しました。作家やエッセイストのアドバイスを経て、その文章は磨かれ、多彩な人生が生き生きと描き出されています。その物語をもとに写真家たちが肖像写真を撮影しています。

ひとりの人間の多面的な魅力が、写真と文章から伝わります。市民が書き上げた物語も、写真とともに展示されます。

八戸の宝物は、この街で生きる人です。88人の市民による取材と撮影に参加した約200名あまりの人々。多様な人生の数々が浮かび上がります。市民とアーティストのコラボレーションは、八戸のエネルギーと魅力を発信します。

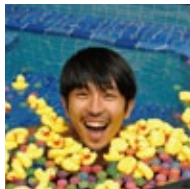
はっちのオープニングを飾るコミュニティアート・プロジェクト「八戸レビュー」にご期待ください。

参加アーティスト



梅 佳代 氏 [写真家]

1981年石川県生まれ。2007年、ファースト写真集「うめ」で第32回木村伊兵衛写真賞受賞。昨年は最新写真集「ウメツ」を刊行、東京・大阪で展覧を開催した。



浅田 政志 氏 [写真家]

1979年三重県生まれ。2009年、写真集「浅田家」で第34回木村伊兵衛写真賞受賞。2010年「Tsu Family Land」浅田政志写真展（三重県立美術館）。



津藤 秀雄 氏 [写真家]

1962年宮城県生まれ。社団法人日本広告写真家協会会員。東北6県の広告写真を手掛けながら、ライフワークとして市井の人々の肖像写真を撮影している。



木村 友祐 氏 [作家]

1970年青森県八戸市生まれの作家。2009年「海猫ツリーハウス」で第33回すばる文学賞受賞。東京都在住。



佐藤 尚之 氏 [クリエイティブディレクター]

1961年東京生まれ。コミュニケーション・デザインを主とするクリエイティブディレクター。エッセイストとしても活躍。カンヌ銅賞など受賞多数。http://www.sat-onao.com



津藤秀雄氏撮影

①関根保弘さん(裂き織り製作者)

②タイヘイ牧場で六郎田靖さんを撮影

浅田政志氏撮影

③スケートリンクで田村正美・美智子夫妻を撮影

④八戸インセクト研究会代表の
蒔田増美さんを撮影

©梅佳代氏も好調撮影中です。

「八戸レビュー」 写真展

2011年2月26日(土)ー3月16日(水)



「静岡(葵タワーで踊る!!)公演より」(撮影:沖つばさ)
「山田珠実演出作品より」

踊りに行くぜ!!Ⅱ 八戸公演

公演日: 2011.2.11 はっちオープニング / 2.19・20 踊りに行くぜ!!Ⅱ

「踊りに行くぜ!!Ⅱ」とは、全国数カ所で地域に根ざしたダンスを制作し、その作品を全国巡回公演するプロジェクトです。今回、八戸公演では、3組のダンスアーティストが出演します。

その中の1組、山田さんと磯島さんは、3週間以上八戸に滞在し、約60人のはっちコミュニティダンサーズ(公募によって集まった市民ダンサー)と一緒にダンス作品制作をします。



山田 珠実 氏 / 構成・演出

振付家・ダンサー。振付作品を発表するほか、小学校、高齢者施設等においてもワークショップを行う。ワークショップのシリーズにDance&People主催による「みる、きく、かかわる」等。愛知淑徳大学非常勤講師。



12月上旬には、15歳から30歳と50歳以上の2グループに向けたオリエンテーションなどを行いました。

このあと、はっちコミュニティダンサーズは、1月下旬からレッスンを重ね本番に挑みます。

また、他にも前納さん演出作品もはっち5階のレジデンスに滞在し制作が始まります。



磯島 未来 氏 / 演出補佐

振付家・ダンサー。八戸市出身。モダンダンスを中村美枝子に師事。自身の作品を発表するほか、Sebastian Eilers, Jörg Brüttなどの作品に出演。

hacchi Artist Clips

誇りたい、八戸の手仕事

八戸の風土に根ざし
古くから受け継がれてきた業やかたち、
新進気鋭のもののづくりを紹介します。

高橋みのるさん



第五回ハンズ大賞稲本正賞のほか数々の受賞歴を持つ、木のからくりアート作家。はっちひろばで一斉歯打ちで時を知らせる、館の象徴的の仕掛時計「からくり獅子舞」の設計・作者である。

佐々木良市さん



「八戸風絵師」としての顔のほか、陶芸作家としてカルチャースクールの講師も務め、左比代虎舞の意匠制作者として、またその代表としての側面も持つ。はっちの観光展示でも多彩な作品を提供。

三浦福寿さん



東京デザイナー学校に学び、地元八戸ではイラストレーターの草分け的存在。八戸観光のイメージイラスト作者としても有名で、はっち館内では庄巻の「八戸三社大祭行列絵図」が展示されている。

大久保直次郎さん



はっち入館を迎え入れてくれる「八幡馬列柱」の作者であり、青森県認定の伝統工芸士。県内唯一とされる一本の鉈でつくる伝統の技法による「八幡馬」は、優しく美しいラインが特徴。

下崎雅之さん



八戸市鍛冶町の紋章上絵師、下崎雅之。自らも「八戸えんぶり」に関わりながら、人間味あふれる「えんぶり人形」を創作し、人形作家として活躍中。八戸三社大祭の山車絵師としても有名。

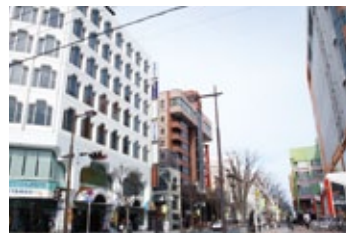
石橋忠三郎さん



ガラス工房スターブリッジ主宰。東北ガラスアート展大賞受賞、世界美術工芸博覧会バイエルン州賞など、八戸のガラス工芸唯一無二の匠。はっち館内に「サークルランプ」が展示される。

中心商店街×はっち コラボプロジェクトはじまる。

中心商店街の12街区で構成する八戸中心商店街連絡協議会では、はっちのオープンに向けてさまざまなプロジェクトを開始します。清潔で美しい環境で中心街に訪れる方々を迎えるための一斉清掃活動「まちなかクリーン作戦(仮)」や、はっちオープンを記念しての各店セール、さらに中心商店街の参加店での買い物をしたレシートの提示で、お買上げ金額ごとに景品が当たる「まちなかレシート抽選会(仮)」など多彩なイベントも開催予定。中心街にはっちが誕生することによるコラボプロジェクトは、さらに続々リリースされていきます。魅力的な専門店と老舗の心意気あふれる中心商店街の取り組みにもご期待ください。



はちみつ編集部より



vol.1



vol.2



vol.3

これまで、はっちリトルプレス「はちみつ」として、おいしい3つの号を発行してまいりましたが、vol.4より、もっと人と人をつなげることで、まちが元気になるきっかけの誌面になると信じ、大判化することといたしました。

次号は2月上旬発行予定で、盛りだくさんの「はっちオープニング特集号」となります。お楽しみに。